

報道関係者各位

2024年4月9日(火)

株式会社明電舎

ドライブロボット TYPE-i RBT-2020 が 「iF デザイン賞 2024」を受賞

このたび、株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上 晃夫/東京都品川区 以下当社）が製造・販売する車両自動運転装置「ドライブロボット TYPE-i RBT-2020(以下、本製品)」が、国際的に権威のあるデザイン賞と知られる iF デザイン賞 2024 (iF DESIGN AWARD 2024、主催：インダストリー・フォーラム・デザイン・ハノーファー(iF) International Forum Design GmbH) ※1 を受賞しました。



「ロボットアクチュエータ」と「操作盤」

iF デザイン賞は全世界の工業製品を対象に、優れたデザインを選定する賞のひとつです。本製品のデザインに関連した受賞は、「2021 年度グッドデザイン賞※2」「2022 年度レッドドット・デザイン賞※3」に続く 3 例目となります。

本製品は、シャシダイナモメータ上で完成車両の自動運転を行う装置です。近年、自動車業界では、開発の高速化や技術の複雑化により、試験におけるドライバーの運転時間増加や運転精度への高いレベルな要求が課題となっており、その課題に対応するため、ドライブロボットの需要が増加しています。

運転席に設置する「ロボットアクチュエータ」と「操作盤」から構成される本製品は、車両のアクセル・クラッチ・ミッション・ブレーキ・イグニッションキーを人の操縦と同様に操作することで、任意の試験走行パターンを運転できます。

■ 製品の特長

① 大幅な軽量化の実現

使用素材と構造の最適化により、「ロボットアクチュエータ」の総重量を従来の 70kg から 22kg まで軽量化。分割構造を取り入れており、パーツ単位ではそれぞれ 8kg 以下を実現しています。さらに、移動形を採用している「操作盤」も従来の 165kg から 106kg まで軽量化し、可搬性を向上しました。

② 運転座席への設置が容易

「ロボットアクチュエータ」の固定と同時に、電気配線の接続も完了する方式を採用しました。さらに、工具レスで 3 点を固定するだけで設置可能なため、作業者の習熟度に依存せず、ズレによる試験の再現性低下を防止できます。

当社は、今回の受賞を契機に自動車試験装置のより一層の品質向上を推進し、お客様への最適なソリューションの提供に取り組んでまいります。

以 上

※1：iF デザイン賞

ドイツ・ハノーファーを拠点とする iF International Forum Design GmbH が主催している 1953 年に創設されたデザイン振興のための国際的なデザイン賞。

※2：グッドデザイン賞

1957 年に通商産業省によって創設された「グッドデザイン商品選定制度」を（財）日本産業デザイン振興会（現在の公益財団法人日本デザイン振興会）が承継した、日本で唯一の総合的デザイン表彰制度。

※3：レッドドット・デザイン賞（Red Dot Award）

ドイツのエッセンにあるノルトライン＝ヴェストファーレンデザインセンターが主催している 1955 年に創設された国際的なデザイン賞。

■ ドライブロボット TYPE-i RBT-2020

https://www.meidensha.co.jp/products/automobile/prod_01/prod_01_02/prod_01_02_01/prod_01_02_01_04/